

18/11/2 名古屋城石垣部会+名古屋市記者会見

名古屋市民オンブズマン作成メモ

石垣部会会見

NHK 天守台すみかど の石

北垣 北面石垣の質問

現状としては、宝暦の段階 使われたものであろう

その点については、それでいい

それがどの段階のものであるか

昭和に触られた可能性 委員からのご指摘はあった

絶対かは再検討がありえる

つき石は昭和に手を入れられた

東南部 直接反映されたか 位置付けをされたか 再検討

NHK：はねだし加工

触ることはできないと指摘

宮武： はねだし加工を前提は議論していない

データを吟味した

外部発注 みるかぎりは、一番てっぺんまで江戸時代

事務局が外部発注して角までは江戸時代と出したのを確認した

千田： 今日の名古屋市石垣資料

上の石垣 一旦外したので古い石垣は残っていない

→詳細な石垣カルテで、角のところ 江戸時代石垣が残存していた

まさに特別史跡の本物の石垣が残っている

冒頭に所長からお話があったように、本質的な価値の保存をかんがえていく

名古屋市がお考えになっている

石垣の上が本質的な価値を失っている→そうではない

名古屋テレビ：2022年目標 計画、工期 守られると思うか

北垣： もともと城郭の石垣の本質的な価値の議論のみ

工期が遅れるかどうかは少し違う

ご質問の趣旨に「そうですね」はなかなかできない
今日の議論をみても、多様な意見が出た
さらに分析していくように
今のご質問には答えられない
やっていることは「本質的価値」
少なくともご理解していただくしかない

記者：一番上まで江戸時代
はねだし加工についてどう思うか

千田：部会としてはコメントはない
本物の石垣が一番高いところまで残っている
次の世代までどう残すか
特別史跡の基本的な考え
文化庁 本物の遺跡を壊して整備は認められない
名古屋城もその枠組みを踏まえてほしい

宮武：今回の議論の結果、江戸時代の石垣と石垣部会が認めたわけではない
名古屋市のデータではてっぺんまで江戸時代と出してきた

記者：文化庁から、認識の一致をしてほしいと依頼

宮武：文化庁記念物課が「認識の一致」といった
こちらが認識の欠落があるように読める
判断するデータを出してくれないから

毎日：文石協のアドバイスを年末までもらって、といていたが、

宮武：文石協に聞く以前
12月までに資料が揃えられるのか？

記者：部会 助言役としてどう働くか

宮武：マンパワーの問題として、これくらいは自分たちでやってくれよ
それがなかなかできない
手伝ってくれない

何かが解決するものではない
修理の考え方、こういうデータ
トレーニングまで部会ではできない
先行事例を知っている方にオブザーバーとして聞いて
劇的に変わるつもりはない

名古屋市記者会見

NHK：先生から足りないと言われているが

西野所長：一つ一つクリアしたい

NHK：優先順位としてはどうか

西野所長：調査状況を説明した
どう評価して、適切に保全するか
文石協のアドバイスを受けて

NHK：文石協の方は今日来たのか

西野所長：文石協内部で誰が来るか調整がつかず、今日は来なかった

NHK：いつくるのか

西野所長：話はしている

NHK：次回石垣部会には来るのか

西野所長：お願いしている

記者：基礎構造の言及
「必ず」

西野：特別史跡の価値を損なうような木造復元はできない
必要な見直しはしていけないといけない

「はねだし自体が価値をそこなう」千田先生個人の意見
価値を損なうような案になると名古屋市が結論を出せば見直す

記者：1委員の私見としてうけとめている

西野：そう

記者：はねだし加工を見直す可能性はあるのか

西野：可能性はあるとかがえている
石垣保存の計画を立てる中で検討すべきこと

記者：年明けには出したい
今日の議論では大変厳しい

西野：今後のスケジュールはなにも示せない
5月文化審議会
3月復元検討委員会
1月石垣部会了承を得ないと
具体的にできるかどうかかなにもお示しできない
そう受け止めて

記者：根本的なところで乖離
なにが問題で、文石協が入って解消できるのか

西野：学芸員の分野でも石垣はあまりいない
職員が石垣経験を持っているか→いない
専門家の先生から見ると不十分なことが多い
文石協の方からアドバイスを受ければ、
今に比べるとよくなっていくのではないかと